

臨床福祉専門演習

[演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《担当者名》臨床福祉学科全教員

【概要】

演習（ゼミナール）では、臨床福祉学科教員が提示する学修課題にあわせて所属ゼミナールを決め、教員が示す学修課題と学生が設定する学修課題にあわせ、所属ゼミナールごとに年間の学修計画を設定する。それぞれの学修計画にそって、担当教員の指導のもと「資料収集」「調査分析」「分析・検討」などを行い課題を深める。これらのことを通して、4学年の授業科目「臨床福祉専門演習」「卒業論文」に繋げる。

なお、各教員の演習内容（学修内容）については3学年前期に提示する。その後、希望調査を行い担当教員（ゼミナール）を決定する。

【学習目標】

福祉に関する専門的事項について深く身に付く。

資料を調べ、批判的視点で資料を解釈することができる。

プレゼンテーションを行い、自分の言葉で専門的な学修内容を表現することができる。

卒業論文の課題設定に向けて、必要な資料、複数の課題を準備することができる。

関心がある学習分野の現状、課題等を調べることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	学修内容の紹介、授業の進め方などについて	演習を担当する教員
2	福祉に関する今日的な課題についての検討（1）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生との検討）	演習を担当する教員
3	福祉に関する今日的な課題についての検討（2）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生との検討：「特別キャリアデザイン講座」における内容をも踏まえての検討）	演習を担当する教員
4	課題の設定・検討（1）	学生自らが関心を持つ学修課題について（学生の報告と教員及び学生と検討）	演習を担当する教員
5	課題の設定・検討（2）	学生自らが設定する学修課題 について（設定の進捗状況の報告と検討）	演習を担当する教員
6	課題の設定・検討（3）	学生自らが設定する学修課題について（設定の進捗状況の報告と検討）	演習を担当する教員
7	課題の設定（1）	学修課題に関する資料収集について	演習を担当する教員
8	課題の設定と自己のキャリアデザイン	設定した学修課題と将来の進路について	演習を担当する教員
9	資料収集・検討	学修課題に関する資料収集状況・課題に対する検討の進捗状況について	演習を担当する教員
10	課題の設定（2）	研究課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」について	演習を担当する教員
11	課題の設定（3）	研究課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」の報告について	演習を担当する教員
12	研究課題の設定及び課題の解決方法の検討	研究課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」の報告について	演習を担当する教員
13	課題の設定及び課題の解決方法の検討	研究課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」の報告について	演習を担当する教員
14	課題の深化	「研究課題」の発表と課題の明確化について	演習を担当する教員
15	まとめ	「臨床福祉専門演習」「卒業論文」の進め方とその学習に向けての準備（課題）について	演習を担当する教員

【評価方法】

プレゼンテーションの内容40%、 学修課題への取り組み状況60%により、総合的に評価する。

【備 考】

教科書 : 担当教員が必要に応じて指示します。

参考書 : 担当教員が必要に応じて指示します。

その他 : 「特別キャリアデザイン講座」に参加すること。

【学習の準備】

この授業では、これまでの学習成果を統合し、そこから生じた問題意識を明確化した上で出席すること。問題意識を社会福祉研究法で学んだスキルにもとづき、研究レベルで展開するために必要な文献検討等が求められるので、関心がある専門分野の論文の収集、読解を行うこと。

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと（80分間）。復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと（80分間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,4,5